ボーリング柱状図

調　　査　　名　地方港湾 釣士田港 港整備交付金事業に伴う業務委託（早瀬地区）

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	1	3	7	9	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.4	調査位置	広島県呉市音戸町早瀬三丁目			北緯	34° 08’ 56.5641″
発注機関	広島県西部建設事務所 呉支所	調査期間	平成28年12月 9日～平成28年12月10日			東経	132° 29’ 39.8565″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	CDL -16.70m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	5.00m	使用機種	試錐機	東邦D-1B58	ハンマー落下用具	半自動型	
			エンジン	NS-110	ポンプ	東邦BG-3B	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1									深度0.80m付近まで飽和し，非常に緩い。		
2									薄く砂質シルトが多う。粗粒砂や細礫・中礫で構成される。二枚貝の貝殻片が多く混じる。		
3									貫入試験による試料採取は難しく，脱落しやすい。		
									深度0.80m以深，φ5～30mmの亜角礫や角礫が不規則に混じる。		
4	-20.60	3.90	3.90		礫混り砂	淡褐灰	非常に緩い		礫間は粗粒砂主体。		
	-21.50	0.90	4.80		風化花崗岩	淡黄褐			軟岩1相当の花崗岩。細礫又は軟質角礫状。構成鉱物の変質や細粒化が進行する。		
5	-21.70	0.20	5.00		風化花崗岩	淡黄褐			軟岩2相当の花崗岩。φ20～30mmの角礫状。		
6											
7											
8											
9											
10											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
0.50	ロッド自沈			0/35	
1.15	1/8	2/16	1/9	4/33	
1.48					
2.15	1	1	1	3/30	
2.45					
3.15	1	2	2	5/30	
3.45					
4.15	19	22	9/4	50/24	50以上
4.39					
5.00	50/2			50/2	50以上
5.02					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法
0.15	P-1	⊖
0.50		
1.15	P-2	⊖
1.48		
2.15	P-3	⊖
2.45		
3.15	P-4	⊖
3.45		
4.15	P-5	⊖
4.39		
5.00	P-6	⊖
5.02		

室内試験	掘進月日
粒度	12/9
	12/10